

受付印		相 続 の 限 定 承 認 申 述 書
		(この欄に収入印紙800円をはる。)
収入印紙	円	(印紙に押印しないでください。)
予納郵便切手	円	

準口頭	関連事件番号	平成・令和	年(家)	第	号
-----	--------	-------	------	---	---

札 幌 家 庭 裁 判 所 御 中 令和 年 月 日	申 述 人 (又は法定代理人など) の記名押印 (共同相続人全員)	印
----------------------------------	--	---

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 申述人の戸籍謄本 通 (共同相続人全員分) 被相続人の除(戸)籍謄本 通 (出生から死亡まで在籍した戸籍を連続するように揃える。) 被相続人の住民票除票又は戸籍附票 通
------	--

申 述 人	別紙「申述人目録」記載のとおり	
被 相 続 人	本 籍	都 道 府 県
	最後の住所	
	フリガナ 氏 名	平成 令和 年 月 日死亡

申 立 て の 趣 旨
被相続人の相続の限定承認をする。
申 立 て の 理 由
1 被相続人の相続人は、別紙申述人目録記載の申述人だけである。 2 申述人が相続の開始を知ったのは、令和 年 月 日である。 それは <input type="checkbox"/> 被相続人の死亡当日 <input type="checkbox"/> 被相続人の死亡の通知を受けた日 <input type="checkbox"/> 先順位の相続人の相続放棄を知った日 <input type="checkbox"/> 3 現在判明している被相続人の遺産は、別紙遺産目録記載のとおりである。 4 申述人らは、相続によって得た財産の限度で債務を弁済することにしたいので限定承認をする。 5 なお、申述人の中で清算手続を行う相続財産清算人には次の者が適任だと思います。 氏 名 _____ 被相続人との関係 _____

(注) 太枠の中だけ記入してください。あてはまる□に✓してください。
 限定 (1 / 4)

申 述 人 目 録

※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		
※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		
※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		
※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		
※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		
※	本籍	都 道 府 県		
	住所	〒 - 日中の連絡先電話番号 () () 方)		
	フリガナ 氏名			昭和 平成 令和 年 月 日生
	職業	被相続人 との続柄		

(注) 太枠の中だけ記入してください。※の部分は、「申述人」と「法定代理人」の区別を記入してください。

遺 産 目 録 (限定承認申述用)

※ 各項目に該当するものがない場合には、「なし」と記載してください。

1 土 地 (不動産登記簿謄本、 固定資産評価証明書)

※ 相続分や共有持分等については、備考欄に記載してください。

所 在	地番	地目	地積 (㎡)	評価額	備 考

2 建 物 (不動産登記簿謄本、 固定資産評価証明書)

※ 相続分や共有持分等については、備考欄に記載してください。

所 在	家屋番号	種類	構 造	床面積	評価額	備 考

3 現 金

金 額	保管場所 (保管者)	備 考

4 預・貯金 (□ 残高証明書(預貯金通帳のコピー))

金融機関名	種類	口座番号	金額	通帳保管者	備考

5 有価証券 (株券・国債・社債・手形・小切手等)

有価証券の種類	銘柄・振出人等	額面金額	数量	評価額 (売却予定価格)

6 貸金等の債権

債権の種類	貸付日等	債務者名	金額	回収の見込み

7 負債等 ※ 申立時点で判明している概算額を記載してください。

項目	借入日等	債権者名	借入等金額	返済条件	残額